

令和6年度第1回長久手市指定管理者選定委員会 議事要旨

令和6年10月1日（火）

午後6時～午後9時

市役所会議室棟2階 会議室H

- 委員の過半数の出席により会議が成立していることの確認・挨拶
- 委員の互選による委員長及び委員長職務代理者の決定
- 委員会が非公開であることについての確認
- 選定の流れについて説明（行政課）

●長久手市田園バレー交流施設

指定管理期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年）

（申請者A 入室 抱負・アピール）

【申請者質疑】

委員 地域や関係機関との連携について、ジブリとの連携はどう考えているか。

申請者 ジブリと直接の連携は難しいと考えている。弊社はアプリの共同開発も行っており、海外向けの旅行代理店などを対象に、ジブリパークに行く行程の中で、あぐりん村にも寄ってもらえるような仕組みを作りたいと考えている。スタンプラリーなども活用したい。

委員 相互販売とはどういうイメージか。またウエイトはどう考えているか。

申請者 ほかの道の駅と連携し、相互に売ること。あぐりん村でもすでに行っている。ただし、地元のものを販売し、住民との交流を図るのが施設の目的であるため、相互販売が中心という趣旨ではない。

いろいろな道の駅の商材ネットワークはもっているが、ウエイトとして高めることは考えていない。

委員 収支計画について、5年間の売り上げや、原価率の抑制など、もう少し詳しく聞きたい。また、人件費や光熱費の高騰についての対応も教えてほしい。

申請者 現在4施設を運営している中で、利用者×客単価の30%～35%が利益だと考えている。最終的に45万人の利用者を目標としている。

原価率については、農家に対して下げるのではなく、材料費や商材費を下げることを考えている。売れ残りはネット販売や弊社が買い取って子ども食堂に寄付す

るなど、農家にロスが出ないように配慮していきたい。

人件費・光熱費の高騰については、雑費を予備費として考えている。

委員 現在働いている人の雇用継続についてはどう考えているか。

申請者 再雇用を前提として考えている。

委員 長久手市の農業振興について、農家がどのような状態になるとよいと考えているか。

申請者 本社では、農業アドバイザーという有資格者とも提携している。

商品開発をしたいが、加工する場がないという農家からのニーズを聞いている。直売所、パン工房、交流館を活用していくことで農業振興に繋がたいと考えている。

委員 6次産業で成功した事例があれば教えてほしい。またその成功要因についても教えてほしい。

申請者 地元の特産物を使ってソースを開発した。成功要因としては、地域の人たちと一緒に商品を開発したことだと考えている。

委員 子ども、障がい者、高齢者等への取り組みで考えていることがあれば教えてほしい。

申請者 子育て支援として、交流館を子ども食堂の場として提供することや、キッズコーナーの設置を考えている。また、社員教育でホスピタリティ（声かけやアシストなど）を実施していきたい。施設を見に行った際に、子連れが多かったこと、また、車椅子の方も見かけた。施設内に段差があるところもあるので、車椅子の方の導線も確保していきたい。

（申請者退席・担当課質疑）

委員 施設には何回くらい来ていたか。

担当課 10回くらい来ていた。電話での問い合わせも多かった。

（採点）

（申請者B 入室 抱負・アピール）

【申請者質疑】

委員 買い物に行けない方に向けた移動販売車の実施は、長久手でも実施することとはできるか。

申請者 十分可能だと考えている。移動販売やキッチンカー、高校の購買など実績がある。曜日ごとに何パターンかルートを設定することを想定している。買い物だけでなく、高齢者等の話し相手になれるとよいと考えている。

委員 農業に興味をもつだけでなく、農業に携わる、働くような積極性を持つ人を増やすにはどうしたらよいか、具体的なイメージがあれば教えてほしい。

申請者 農産物を販売するだけでなく、勉強会や子どもの農業体験などを企画し、農業の振興・活性化を考えている。

委員 収支計画についてもう少し詳しく聞きたい。

申請者 初年度については、既存の従業員を受け入れ、いま行っている取り組みの継続を基本として考えている。2、3年目に自主事業を取り入れ、自社の色を出していきたいと考えている。5年目には3億円の売り上げを見込んでいる。物価高や人件費の高騰については、原価や仕入れ費用を抑えることで対応することを考えている。

委員 既存の雇用継続についてはどう考えているか。

申請者 基本的に継続を想定しており、現在と同じ条件での雇用を考えている。

委員 自治体と協働して地域課題を解決した事例があれば教えてほしい。

申請者 弊社が運営する道の駅では特産品がなく、ジビエメニューを開発したが、あまり伸びなかった。別の特産品を見つけ、市内の飲食店にも声をかけて町おこしを行った。地域全体の活性化に繋がったと考えている。

委員 農業の魅力を伝えていく、具体的なアイデアがあれば教えてほしい。

申請者 弊社が運営する道の駅では、月1回手書きの通信を配布している。旬の農産物を紹介したり、農業者の声を掲載することで、農業の活性化に繋がりたいと考えている。

委員 会社での若い方に対する教育計画を教えてほしい。

申請者 新入社員は、道の駅・SA・空港など現場を回することで、各店の運営を学ぶことを目的としている。また、外部講師を招いたセミナーも実施している。昨年、大学生と商品開発に取り組んだ。あぐりん村においても、近隣大学と連携していきたい。

委員 決算書上、利益がマイナスになっているが、事業計画は大丈夫か。

申請者 弊社は昨年合併してできた会社である。昨年まではコロナの影響でマイナスだったが、昨年合併してから黒字化した。親グループの支援も受けられるため、経営は健全である。

委員 農業従事者や農業に興味をもつ人を増やすためには、試行錯誤して時間がかかるものだと思うが、本社として先行投資は認められるか。

申請者 グループ施策としてしっかり取り組む事業は、赤字や先行投資になっても親会社のバックアップはある。

委員 子どもや高齢者に向けて考えていることは何かあるか。

申請者 指定管理が決まって終わりではなく、イベントや施策を実施し続けることが使命だと考えている。

(申請者退出・担当課質疑)

委員 質問や訪問の回数はどうだったか。

担当課 適度にいただいていた。他に運営している道の駅駅長も来ていた。

(採点)

(中日本エクシス(株) 入室 抱負・アピール)

(申請者質疑)

委員 現在働いている人の雇用継続についてはどう考えているか。

申請者 パートタイムも含めて、基本的に継続雇用を考えている。

もし、条件が合わずに辞退する方がいた場合は、弊社社員を配置する。

委員 事業計画の収入や負担金についてももう少し詳しく聞きたい。

申請者 売り上げについては、堅めに想定している。バイパスも開通するため、利用者は増えると見込んでいるが、着実な数字を計上している。

委員 御社の他の指定管理施設との具体的な連携方法はどのようなか教えてほしい。

申請者 グループ会社で指定管理を受託しており、直売所に長久手の農産物を置いていいという内諾は得ている。長久手の農産物でジェラートを作って売ることも可能ではないかと考えている。

委員 あぐりん村の芝生について、イベント以外で活用できるアイデアはあるか。

申請者 休憩場所を増やしたいと考えているが、屋根がないため、工夫が必要である。

委員 「新しい農のかたち」とは何か。また、市の農業政策でもある農業者を増

やす具体的なイメージがあれば教えてほしい。

申請者 長久手市の特徴として、小規模農家が多いため、安心安全なものを少量でも作っていくこと。大規模農家とは違うところだと考えている。

また、農業者を増やすには、交流が少ないと感じている。遊休農地の情報など興味をもってもらい情報発信が必要だと考えている。

委員 市の政策に資するような過去の取組事例があれば教えてほしい。

申請者 弊社が指定管理している道の駅では、市町村からの依頼に基づき、農家と市民が繋がるよう収穫体験などを定期的に行ったり、周辺農家への訪問を行っている。また、観光振興の観点から、観光協会との連携も図っている。

委員 施設の運営者はどのような人を想定しているか。

申請者 現在あぐりん村で働いている方々を現地で採用し、本社支店からのバックアップ連携した運営体制を考えている。

委員 長久手にフィットしたプランができていると感じるが、実際に現場がそのプランを実行できるか。計画部隊と実行部隊で温度差が生まれないか。

申請者 開業前から現場と考え方を共有していきたいと考えている。また、本社も近い将来、現場との連携を大切にしたい。

委員 他に何かPRすることがあれば教えてほしい。

申請者 現在あぐりん村では地域の方に向けたイベントを行っているが、認知度に課題があると感じている。SNS・HP・Googlemapなどを使ってユーザーを増やしていきたい。

委員 負担金の金額の理由を教えてください。

申請者 負担金は施設に使われるものと認識しており、駐車場整備などに使えないかと考えている。

委員 人件費の高騰についてはどう考えているか。

申請者 年3%上昇で計算しているが、今後情勢に合わせて再修正も考える。

委員 農地オーナー制度について、成功事例はあるか。

申請者 事例はなく、新たな取組である。農家の協力も必要である。

委員 先行投資的に使える財政力はあるか。

申請者 あると考えている。

委員 農地オーナー制度の案はどういう経緯で出てきたのか。

申請者 新潟の村に棚田オーナー制度があり、長久手で同じようなことができないかと考えた。

委員 会社のボランティア活動について教えてほしい。

申請者 社内にボランティア制度があり、ボランティア休暇もある。年間300～400人がボランティアに参加しており、長久手市でもこの活動をやりたいと考えている。

(申請者退出・担当課質疑)

委員 質問回数等はどうだったか。

担当課 適度にあった。課題や改善点を理解していただけるかなと感じている。

(採点)

(申請者C 入室 抱負・アピール)

【申請者質疑】

委員 売り上げや、収益の見込みについてもう少し詳しく教えてほしい。

申請者 令和5年度の実績プラス令和7年度の開業を含め、売り上げを計画した。7億7,500万円を初年度想定としている。

委員 売り上げの伸び率の根拠は何か。

申請者 伸び率3%で計算している。物価上昇、人件費高騰を踏まえて、経験則での計算である。

委員 現在働いている人の雇用継続についてはどう考えているか。

申請者 全員雇用を前提として考えている。第3セクターとルールは違うが、希望する方には雇用前提で協議を進めていく。

委員 「守るべきものと変えるべきもの」はそれぞれ何を想定しているか。

申請者 現状を踏襲しつつも、時代に合った新しい提案や、より長久手市のためになる提案をしていきたい。

委員 地域課題解決型とあるが、長久手の地域課題の解決コンセプトは何か。

申請者 担い手不足や生産性に対して、人件費が上がるというのは全国共通課題としてある。ロケーションの違い、市の考え方、施策の違いなど個々の課題に合わせて課題解決をしていきたい。

委員 今回の計画の中で、御社が指定管理する施設がある市町村とあぐりん村がある長久手市との違いをどう捉えているか。

申請者 弊社が指定管理する施設の市町村が目指している施設は、道の駅である。

ベッドタウンの道の駅はプロトタイプと考えており、ポテンシャルは感じている。その一方で、生産者人口が少ないため、ランニング面が課題のひとつである。長久手市は、面積は小さいが、生産者人口は多く、市の中で西と東の違いもある。あぐりん村は、温泉施設に付随した施設でもあり、立地的な面でも道の駅とは目指しているところは違うと考えている。

委員 御社が指定管理する道の駅の開業について、社員は常駐するのか。

申請者 新規拠点の立ち上げの場合は、専属メンバーを常駐させている。今回は新規ではないが、100%再雇用を前提として進めていくことを考えている。

委員 農家の非効率的な経営を改善するため、6次産業化として農業振興を成功した事例があれば教えてほしい。

申請者 ビジネスモデルの構築や仕組みづくりが重要だと考える。地域課題、経営課題に即して、自足する仕組みを考えていきたい。

委員 市の農業政策とどのように関連付けると考えているか。

申請者 出口戦略支援が基本と考えており、市の施策と協働が大切である。

(申請者退出・担当課質疑)

委員 質問回数等はどうだったか。

担当課 電話の回数は少なかった。

(採点)

(解散) 21:00

(中間採点結果)

「申請者A」 64.25 点／100 点

「申請者B」 77.95 点／100 点

「中日本エクシス(株)」 82.65 点／100 点

「申請者C」 71.26 点／100 点